

Smile

RO

Journey

HASHIMA
SEKI
GUJO
GERO
TAKAYAMA
HIDA

笑顔になれる旅

ロード
円空路

SMILE ROAD JOURNEY

笑顔になれる旅

江戸時代、修行のため作仏をしながら旅をした円空。
その作品は「円空仏」と呼ばれ、
ゆかりの地である岐阜県には数多くの史跡があります。
羽島市～飛騨市の6市をつなぐ
観光ルート「^{ロード}円空路」では
歴史や自然にふれ、土地の人々とかかわり
地元ならではの楽しみ方を知ることができます。
“円空仏のほほ笑み”のように心穏やかに
皆が笑顔になれる旅を
円空路で^{ロード}見つけてみませんか？



HIDA



TAKAYAMA



GUJO



GERO



HASHIMA



SEKI





円空仏

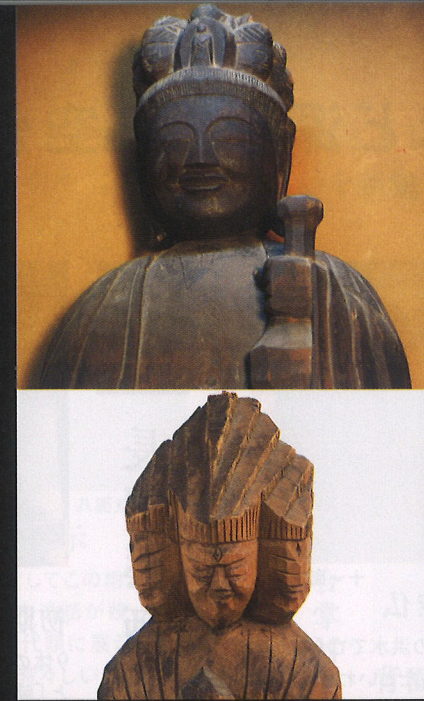
祈りの旅から 生まれた 木彫りの仏像

美濃国（現在の岐阜県）で生まれ、全国を行脚しながら12万體もの仏像を製作したと伝えられる江戸時代の僧・円空。ノミ跡が残る素朴で荒々しい造形、ほほ笑みをたたえた柔和な表情を特徴とする木彫仏は「円空仏」と呼ばれ、各地で大切に守り継がれてきました。岐阜県内には「円空仏」の作品はもちろん、円空ゆかりの史跡や逸話が多く残されています。それらにふれ、生涯を祈りの旅に捧げた円空の生きざまに思いをはせてみませんか。

両面宿難坐像：千光寺蔵（高山市丹生川町）



円空上人像：千光寺蔵（高山市丹生川町）



写真上／十一面観音像：中観音堂蔵（羽島市）
写真下／青面金剛神像：下呂温泉合掌村 円空館（下呂市）



一木三尊像：高賀神社蔵（関市）

12万體もの仏像を彫り上げた円空

1632（寛永9）年に美濃国（現在の岐阜県）で生まれた円空は、幼少期に出家し、全国各地を遍歴。生涯で12万體の仏像を彫ることを誓い、布教のかたわら、訪れた土地で手に入る木材を使って造仏を続けました。その足跡は岐阜県や近隣の県にとどまらず、関東地方や東北地方、北海道にまでおよび、約5,000體の現存が確認されています。旅の中で、人々とふれ合いながら修行を重ねた円空。誓願の12万體の仏像を彫り終えた晩年は、出生地である美濃国に戻り、現在の岐阜県関市の弥勒寺に自坊をかまえた後、長良川河畔で即身仏となって64歳の生涯を閉じました。

民衆を励ましたほほ笑み

美しい装飾に厳かな顔。これが古くから守られてきた仏像造りの基本でした。一方、「円空仏」は装飾はおろか、塗装も施されず、木の割れ目や節、ノミ跡があらわになった荒削りな作品が多くあります。このことは「人々が仏像を身近に拝めるように」という円空の思いの表れであり、12万體とされる量産を可能にした秘訣ともいえるでしょう。しかし「円空仏」の最大の魅力は、眺めているだけで心が和む、ほほ笑みをたたえた表情。その優しい表情が天災や飢きん、病に悩み苦しむ当時の民衆に慈愛と励ましのメッセージを届けたことは想像に難くありません。

円空ゆかりの地 岐阜県

国内で現存が確認されている「円空仏」約5,000體のうち、1,300體が岐阜県内で大切に守り継がれています。その数の多さに加え、初期から晩年までの作品が揃っているのが特徴。岐阜県内のゆかりの地を巡れば、「円空仏」の魅力を味わい尽くすことができるといっても過言ではありません。旅に生き、日本中の救われぬ人々のために、ひたむきに仏像を彫り続けた遊行僧・円空。平和への願いは「円空仏」に宿り、時空を超えて私たちの心に訴えかけます。慈愛に満ちたそのほほ笑みに出会いに、ぜひ岐阜県を訪れてください。

円空の足跡

- 一六三二（寛永九） 美濃国（現在の岐阜県）に生まれる。
- 一六三八（寛永十五） 長良川の洪水で母を亡くす。
- 一六六三（寛文三） 岐阜県郡上市美並町の神明神社の天照大神像など三體の神像を作る。
- 一六六四（寛文四） 九月、郡上市美並町の白山神社の阿弥陀如来像を作る。
- 十二月、郡上市美並町の子安神社で諸像を作る。
- 一六六六（寛文六） 青森、北海道を旅し、各地で多数の仏像を作る。
- 一六六九（寛文九） 愛知県名古屋千種区に錦薬師堂の諸像十七體を作る。
- 岐阜県関市武儀町の白山神社で白山三尊を作る。
- 一六七〇（寛文十） 郡上市美並町の黒地神明社の天照皇大神像を作る。
- 一六七一（寛文十一） 奈良法隆寺の巡礼香壇から、「法相中宗血脈」を承ける。母の三十三回忌供養として岐阜県羽島市上中町中に観音堂を建て、本尊十一面観音を作る。
- 一六七三（延宝元） 奈良県吉野郡天川村板尾観音堂の諸像を造詣。
- 一六七四（延宝二） 三重県志摩市片田三蔵寺や立神薬師堂に伝わる「大般若経」六百巻を修復。
- 一六七五（延宝三） 吉野郡の大峯山で役行者の像を刻む。
- 一六七六（延宝四） 名古屋守山区龍泉寺の馬頭観音など諸像を作る。名古屋市中川区荒子観音寺で仁王像と千面菩薩などを作る。
- 一六七九（延宝七） 白山の神より託宣を受けて不動明王像三體と十一面観音像一體を作り、郡上市美並町の杉原熊野神社などに納める。滋賀県大津市園城寺の円満院門流靈鷲院兼日光院の尊栄大僧正から、「仏性常住金剛宝戒相承血脈」を受ける。
- 一六八一（天和元） 北関東地方を旅し、群馬県富岡市の貫前神社に生年を記し、漢詩や和歌を残す。
- 一六八四（貞享元） 関市洞戸の高賀神社に滞在して漢詩や和歌を詠み仏像も残す。名古屋市中川区荒子観音寺の円盛法印から天台
- 一六八五（貞享二） 岐阜県高山市丹生川町の千光寺に滞在し、両面宿難など多数の仏像や和歌を残す。
- 一六八六（貞享三） 羽島市竹鼻町狐穴で稲荷神社のご神体を作る。高山市で不動像（個人蔵）を作る。長野県木曾郡南木曾町の等覚寺で天神像など諸像を作る。
- 一六八九（元禄二） 滋賀県米原市の伊吹山太平寺観音堂の十一面観音を作る。滋賀県大津市園城寺の尊栄大僧正から「授決集最秘師資相承血脈」を受ける。また、自坊の関市池尻の弥勒寺が天台宗寺門派総本山園城寺内靈鷲院兼日光院末寺に召し加えられる。
- 一六九〇（元禄三） 五九歳 高山市上宝町の金木戸で十一面観音など三體を作り、背面に誓願の十萬体造頭達成を記す。現在は同町桂峰寺に祀られている。
- 一六九一（元禄四） 六十歳 岐阜県下呂市金山町菅田で四月二十日、青面金剛神像を作る。また、二日後の四月二十二日、同市小川にて青面金剛神像を作る。
- 一六九二（元禄五） 六一歳 関市洞戸の高賀神社境内にあった観音堂で最後の作品となる十一面三尊と虚空蔵菩薩など數十體を制作する。
- 一六九五（元禄八） 六四歳 七月十三日、弟子円長に「授決集最秘師資相承血脈」を与える。二日後の十五日、孟蘭盆のとき、関市池尻の長良川河畔で入定を遂げる。

円空仏の作風の変遷

初期

先人の作品を参考に木彫仏を作り始めた円空。初期の作品はノミ跡が繊細で、全体的に丁寧な彫り込まれています。

中期

造仏の簡略化を進め、円空らしさを確立していった時期。小さな端材を使った木「端仏」も作り始めました。

円熟期

鈍（なた）で木材を断ち割り、一気呵成に仏像を彫り上げた円熟期。躍動感と生命力に満ちた名作が多く作られました。

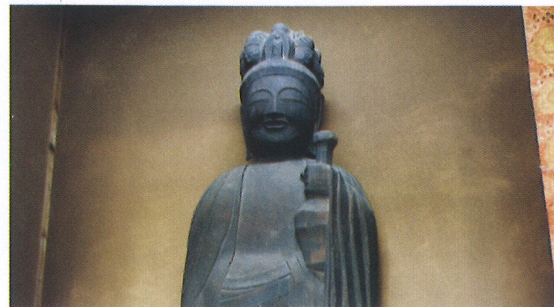
監修・羽島市円空顕彰会

知れば知るほど深い、円空仏の世界

円空路周辺円空仏拝観施設

羽島市

中観音堂 (羽島円空資料館)



十一面観音像

初期～中期の穏やかな円空仏

本尊である「十一面観音像」は、長良川の洪水で亡くなったという母の三十三回忌供養のために作ったといわれています。高さ222cmと際立って大きく、ほかにも数地内の円空資料館を含め17体の円空仏を間近に見ることができます。隣接して市史跡「円空上人産湯の井戸」があります。

羽島市上中町中526
TEL.058-398-6264
開館時間 / 9:00～17:00 休館日 / 月曜日
入館料 / 羽島円空資料館
高校生以上300円、
団体(30人以上)150円、
中学生以下無料



拝観MAP
1

羽島市

長間薬師寺



護法神像

初期の「薬師三尊像」と「護法神像」が安置9体の円空仏が安置されています。本尊の「薬師如来像」と「脇侍坐像」2体からなる「薬師三尊像」は、「護法神像」とともに初期の名作といわれています。ゴツゴツとしたノミ跡の「護法神像」は、笑っているようにも険しい表情にも見える円空らしい仏像です。

※表紙のモデル

羽島市上中町長間893
TEL.058-392-3210
(要事前予約)



拝観MAP
2

関市

関市円空館

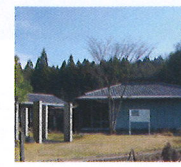


善財童子

円空が晩年を過ごした地

晩年を弥勒寺で過ごした円空は、64歳のときに死期を予覚し、長良川河畔に入定しました。関市円空館は、円空入定塚や円空の墓、弥勒寺官衙遺跡群を含む史跡公園にあり、護法神や「自刻像」ともいわれる「善財童子」などが展示されています。

関市池尻185 TEL.0575-24-2255
開館時間 / 9:00～16:30
休館日 / 月曜日(祝日を除く)、
祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、
12月29日～1月3日
入館料 / 一般250円、団体(20人以上)200円、
高校生以下無料



拝観MAP
3

関市

関市 洞戸円空記念館

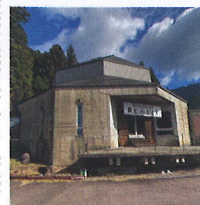


虚空蔵菩薩

晩年の多彩な仏像に円空の念が漂う

円空ゆかりの社・高賀神社のそばに位置し、中央の立ち木を彫る円空の像をはじめ、あわせる1本の木になるといふ「一木作り三像」や最後の作とされる「歓喜天」、独特な模様を描いた狛犬などを展示しています。

関市洞戸高賀1212
TEL.0581-58-2814
開館時間 / 9:00～16:30
休館日 / 月曜日(祝日を除く)、
祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、
12月29日～1月3日
入館料 / 一般250円、団体(20人以上)200円、
高校生以下無料



拝観MAP
4

下呂市

温泉寺

「善財童子」「善女竜王」「阿弥陀如来」「宇賀神」事前予約をすると、円空仏を抱かせてもらうことができます。



下呂市湯之島 TEL.0576-25-2465
拝観時間 / 事前予約のみ対応
拝観料 / 500円

拝観MAP
9

高山市

飛騨国分寺

「弁財天立像」「薬師三尊」「莫忘想」(書)



高山市総利町1-83 TEL.0577-32-1395
拝観時間 / 9:00～16:00 定休日 / 12月31日、1月1日
拝観料 / 高校生以上300円、小中学生250円

拝観MAP
10

郡上市

美並ふるさと館



八面荒神座像

初期から晩年まで年代別に展示

郡上市美並町には、円空が木地師の子としてこの地で生まれたとの説があり、修行の際のさまざまな逸話が残っています。初期から晩年までの約90体が年代順に展示され、「八面荒神座像」「秋葉権現像」といった荒々しい印象の像や、円空が作った厨子(仏様の入れ物)も見どころです。

郡上市美並町高砂1252-2
TEL.0575-79-3440
開館時間 / 10:00～16:00
(入館は15:30まで)
休館日 / 月曜日
(月曜日が祝日の場合はその翌日、
12月27日～1月4日)
入館料 / 高校生以上220円、
団体(20人以上)150円、
小中学生110円



拝観MAP
5

下呂市

下呂温泉合掌村 円空館



背面金剛神

背面の文字にも円空仏らしさ

合掌造りの家屋を移築した「合掌の里」内にあり、下呂市周辺に残る円空仏のうち、主に後期のものを展示しています。四方がガラスのケースに入っているため、円空仏の特徴のひとつである背面の文字もよく見ることができます。

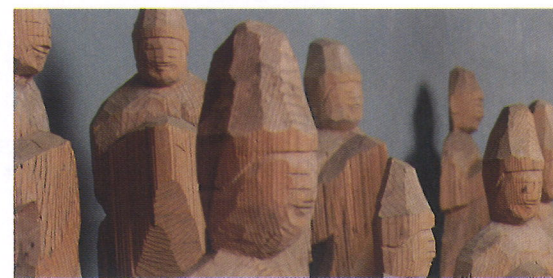
下呂市森2369 TEL.0576-25-2239
開館時間 / 8:30～17:00
休館日 / なし
入館料 / 下呂温泉合掌村共通
高校生以上800円、小中学生400円



拝観MAP
6

高山市

飛騨千光寺 円空仏寺宝館



三十三観音像

飛騨での遊行を物語る多彩な作品群

円空が晩年訪れ、しばらく滞した千光寺。敷地内の「円空仏寺宝館」では、1体ずつ面影の異なる「三十三観音像」や迫力のある「両面宿儺坐像」、立木に直接刻まれたという2体の仁王像など、円空仏64体を公開しています。円空の肖像画や木端で書いたといわれる書も必見です。

高山市丹生川町下保1553
TEL.0577-78-1021 (千光寺)
開館日 / 土・日・月・祝(その他は要事前予約)
※12月～3月は冬期休館
拝観料 / 大人(18歳以上)500円、
小・中・高校生200円
開館情報はHPでご確認ください。
<https://senkouji.com/>



拝観MAP
7

高山市

飛騨高山 まちの博物館



金剛神(飯山寺蔵、まちの博物館で展示)

高山の歴史・文化とともに観る円空仏

城下町・高山のなりたちや、その中で育まれてきた美術工芸、伝統文化などを紹介する博物館。生活の中で信仰されてきた円空仏と、人々との関わりについて展示しています。「金剛神」「思惟菩薩像」「柿本人麻呂像」「愛染明王像」などが見られます。※変更になることもあります。

高山市上一之町75
TEL.0577-32-1205
開館時間 / 9:00～19:00
休館日 / 無休
入館料 / 無料



拝観MAP
8

高山市

清峯寺

「竜頭観世音菩薩」「十一面千手観世音菩薩」「聖観世音菩薩」



高山市国府町鶴巣1320-2 TEL.0577-72-3111 (高山市国府支所)
開館時間 / 9:00～16:00 ※要事前予約
拝観料 / 300円

拝観MAP
11

高山市

上宝ふるさと歴史館

「不動明王」ほか31体



高山市上宝町本郷582-12 TEL.0578-86-2141
拝観時間 / 9:00～16:00
定休日 / 月曜日(祝日は開館)、年末年始 入館料 / 無料

拝観MAP
12

体験型観光特集

思い出をもっと楽しく！ 参加する旅 ふれる旅

自然豊かな円空路^{ロード}周辺には
体験型の観光スポットがたくさんあります。
円空上人が歩いてその土地に関わっていったように、
見るだけでなく“参加”することで
旅はもっと特別な思い出に。
円空路ならではの、新しい出会いが待っています。

“線路を漕ぐ”爽快感がたまらない！

レールマウンテンバイクガッタンゴー

2006年に廃線となった旧神岡鉄道の線路を利用し、フレームに取り付けたマウンテンバイクでレールの上を走行します。「ガッタンガッタン」というレールの継ぎ目の音や、道路から見るのとは違った風景など、他では味わえない魅力を体感できます。市街地を走る「まちなかコース」と、大きな橋や鉄橋を渡って渓谷沿いを走る「渓谷コース」があります。公式ホームページよりネット予約が可能です。

住所 飛騨市神岡町東雲1327-2
TEL 090-7020-5852
(レールマウンテンバイク・ガッタンゴー事務局)
開館時間 9:00～16:30(曜日・季節により変動あり)
定休日 まちなかコース 火・水曜日 / 渓谷コース 水曜日
(祝日は営業) ※11月下旬～3月下旬は冬期休業
料金 ハイブリッド車 2人で3,200円～
※走行コース・車両により異なります。

木彫りに挑戦 一位一刀彫体験

高山市の「飛騨高山まちの体験交流館」は、伝統文化の交流拠点として組紐やさるぼぼ作りなどさまざまな体験ができる施設です。このうち「一位一刀彫」は国指定の伝統的工芸品で、江戸時代末期に松田亮長が飛騨の象徴であるイチイ材を根付彫刻に用いたことが始まりとされます。同館ではバターナイフやコースター、“楽地藏”などの体験メニューから選ぶことができます。

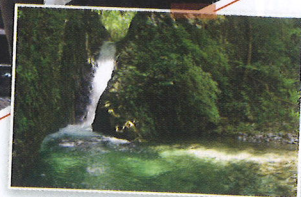
飛騨高山まちの体験交流館
住所 高山市上一之町35-1
TEL 0577-70-8290
開館時間 9:00～21:00
(主な体験は10:00～16:00)
休館日 無休(臨時休館あり)
入館料 無料(体験メニューは有料となります)



江戸時代から続く伝統織物 美濃絨織り体験

羽島市の「はしま観光交流センター」には、江戸時代から現在の羽島市竹鼻町を中心に栄えた手紡ぎの木綿織物「美濃絨」の機織り体験コーナーがあります。本物の美濃絨や機織り機に触れたり、伝承サークル会員の方からお話を聞くことができます。

はしま観光交流センター
住所 羽島市竹鼻町2614 TEL 058-322-2303
開催期間 9:00～17:00
体験は土・日・祝日の10:00～15:00(平日は要予約)
休館日 年末年始を除き無休
入館料 無料(体験も無料)

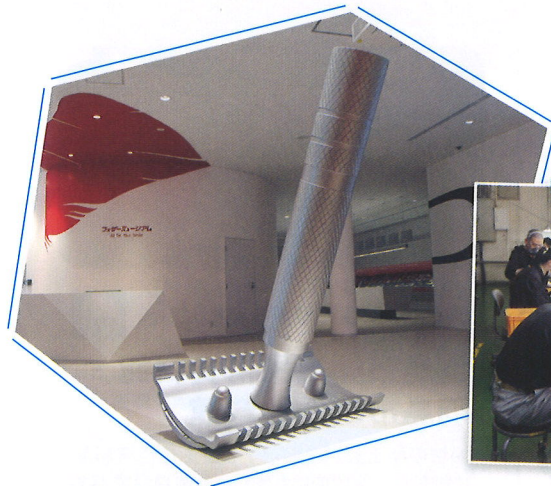


落差14mの「あかがねとよ」

特色あふれる滝を訪ねる14コース 小坂の滝めぐり

下呂市小坂町は日本一滝の多い町。落差5m以上のものだけで216カ所もあり、大きさや形状の異なるさまざまな滝を見ることができます。これらの美しい滝を、「NPO法人飛騨小坂200滝」によるガイドを基本に訪ねる14のコースが「小坂の滝めぐり」です。ガイドなしでも歩ける初心者コースから、中級・上級では川の中に入って進む冒険要素もあるなど、大自然を贅沢に味わえるアクティビティです。

住所 下呂市小坂町
TEL 0576-62-2215 (NPO法人飛騨小坂200滝)
料金 コース・参加人数により変動
※ツアー代金とは別に環境維持協力金300円をお願いします。
※コースの多くは国有林のため無断で立ち入ることは禁止されています。



ものづくりにふれる 刃物のまち関の工場見学

戦国時代には日本刀の産地として栄えた関市は、世界的にも知られる刃物産業のまちです。包丁、ハサミ、ナイフ、爪切りなど多くのメーカーがあるなか、工場見学のできるところも。刃物ができていく工程を間近で見学したり、包丁研ぎ教室やオリジナルナイフ作り体験といった内容もあります。業種は刃物にとどまらず、さまざまなコースがありファミリーにも人気。ものづくりに詳しくなりますよ。

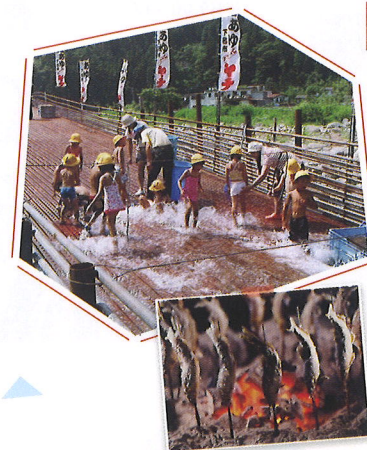
住所 関市内各所 TEL 0575-23-6726 (一般社団法人関市観光協会)



郡上市発祥の工芸 シルクスクリーン体験

プリントTシャツ等に用いられるシルクスクリーン印刷。郡上おどりで知られる郡上八幡が発祥と言われています。ここでは、郡上おどりの必須アイテムでもある手ぬぐいや、布製トートバッグのシルクスクリーン印刷を気軽に体験することができます。旅の記念に、自分だけのオリジナルグッズを作ってみてはいかがでしょうか？

Takara Gallery workroom (タカラギャラリーワークルーム)
住所 郡上市八幡町島谷470-28
TEL 0575-67-9707 ※電話予約制
営業時間 10:00～17:00
定休日 火曜日、水曜日(※臨時休業あり)
料金 手ぬぐい体験 1,000円～



大自然の中で鮎のフルコース 観光ヤナ

ヤナとは、川の流れをせき止めて竹などで組んだ“ヤナ”に流れ込む魚を獲るといふ古くからの漁法です。多くの観光ヤナでは、川の流れる音を聴きながら鮎の刺身や塩焼き、田楽、フライ、鮎雑炊と、さまざまな鮎料理を堪能することができます。期間中ヤナ漁を見学したり、川に入ってつかみ取りをできるところもあります。

開市 板取川洞戸観光ヤナ
郡上市 郡上八幡やちか、莉安観光ヤナ、杉ヶ瀬ヤナ、和み舎せせらぎ
下呂市 馬瀬川観光ヤナ、飛騨はぎわら観光ヤナ
開催期間 ヤナ漁 6月下旬～10月上旬頃
※観光ヤナの営業期間等は店により異なります。

新幹線&高速道路
岐阜県の玄関口

羽島市

円空生誕の地として知られる羽島市は、東海道新幹線・岐阜羽島駅や名神高速道路・岐阜羽島ICがあるなど、他県からの入口のような存在です。ここから全国を行脚した円空のように、旅のはじまりにぴったりのまちです。※諸説あり



詳しい情報は
コチラ



壮麗な山車とフジの花の共演

美濃竹鼻ふじまつり・竹鼻まつり



4月下旬～5月上旬、樹齢300年以上といわれる県指定天然記念物「竹鼻別院のフジ」が見頃を迎え、藤棚の下でのお抹茶・飲食コーナーや、竹鼻町商店街周辺を巡るスタンプラリーなどが催されます。また5月3日には、八剣神社の祭礼・竹鼻まつりが行われ、県指定重要有形民俗文化財にも定められる豪華絢爛な13輛の山車が半数ずつ隔年交互に曳行されます。

美濃竹鼻ふじまつり
住所 羽島市竹鼻町2802 (竹鼻別院)
TEL 058-322-2303 (羽島市観光協会)
開催期間 4月下旬～5月上旬

竹鼻まつり
住所 羽島市竹鼻町一帯・八剣神社
TEL 058-392-1111 (羽島市商工観光課)
開催期間 5月3日



約2kmの桜並木 背割堤さくらまつりinはしま



スポーツやバーベキューが楽しめる国営木曾三川公園桜堤サブセンターでは、桜の開花時期にあわせてさくらまつりが行われ、飲食ブースのほか、魚釣り体験など多くのイベントが企画されます。ここから南へ続く背割堤の桜並木は約2kmの道のり。木曾川と長良川の間を堤防をのんびり散歩することができます。

住所 羽島市桑原町小藪地内
(国営木曾三川公園桜堤サブセンター内)
TEL 058-322-2303 (羽島市観光協会)
開催期間 3月下旬～4月上旬

国内最大級・ファッション業界御用達

テキスタイル マテリアルセンター



古くから繊維の産地として栄えた羽島市ならではの布地の資料館。10万点以上の素材サンプルを展示し、全国から多くのファッション業界関係者が訪れます。高額な生地やマフラーなどが格安で購入できる一般販売ルームも注目です。

住所 羽島市竹鼻町蜂尻448番地
TEL 058-391-8511
開館時間 平日9:00～17:00



懐かしい映画の世界に浸る



羽島市歴史民俗資料館・ 羽島市映画資料館

地域の郷土資料を展示する歴史民俗資料館に併設し、全国的にも珍しい映画資料館があります。新旧の映画ポスターを多数所蔵しているほか、毎月第2土曜日には昔ながらの映写機を使った映画上映が行われています。

住所 羽島市竹鼻町2624-1
TEL 058-391-2234
開館時間 9:00～17:00
(入館は16:30まで)
休館日 月曜日、祝日の翌日、
年末年始(12/28～1/4)
入館料 大人(高校生以上) 300円
団体(10人以上) 250円
中学生以下 無料
障がい者割引(付添人1人まで) 150円



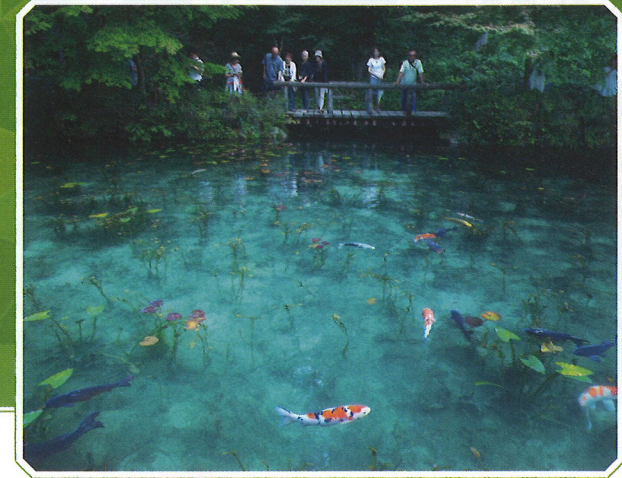
“刃物のまち”だけじゃない
魅力満載

関市

修行の旅を続けた円空が最期の地に選んだ関市には、ゆかりの史跡や資料館が多くあります。“刃物のまち”として全国的に有名ですが、独特な形で東西南北に広がる市内に、さまざまな観光スポットが点在する「観光のまち」でもあります。



詳しい情報は
コチラ



名画の世界に浸れる / 名もなき池 (通称「モネの池」)



透明度の高い湧水が絵具を塗ったような色合いを醸し出し、睡蓮の間を泳ぐ鯉の様子が、まるでフランスの画家クロード・モネの描いた「睡蓮」に似ていると話題になりました。今では関市の代表的な観光スポットになっています。

住所 関市板取手下根道上448 (根道神社)
TEL 0581-57-2111 (関市板取事務所)



一千有余年の歴史を誇る伝統漁法 /
小瀬鵜飼



篝火のもと、鵜匠が操る手縄の先で鵜が次々に水中に潜っては魚を捕らえます。静寂の中に響く鵜匠の「ホウホウ」という掛け声、間近にトントンと舟をたたく音を聞きながら、古式ゆかしい幽玄のひとつを体感することができます。

住所 関市小瀬 (長良川河畔) TEL 0575-22-2506 (関遊船会) 開催期間 5/11～10/15

関の刃物文化を知る

関鍛冶伝承館



鎌倉時代から続く関鍛冶の伝統の技を紹介する施設。日本刀やその製造工程、歴史に関するさまざまな資料を展示しています。新年の打ち初め式、刃物まつり開催時など、刀匠による古式日本刀鍛錬や、研ぎ師ら職人の実演を見る機会もあります。



住所 関市南春日町9-1
TEL 0575-23-3825
開館時間 9:00～16:30
休館日 毎週火曜日 祝日の翌日
入館料 大人300円(250円) 高校生200円(150円)
小中学生100円(50円)※() 団体割引20人以上
障がい者割引(付添人1人まで) 無料



包丁やはさみがお値打ちに買える!

刃物まつり



刃物のまち・関市の刃物会社がテントを並べ、包丁やはさみ、ナイフなどの関連商品をお値打ちな価格で販売します。古式日本刀鍛錬の実演や居合斬りなどの催しも企画され、毎年全国各地から多くの観光客が訪れます。

住所 関市本町
TEL 0575-22-3131 (関市観光課)
開催期間 お問い合わせください

日本唯一、卍型の戒壇巡り

関善光寺 (宗休寺)



信州善光寺と同じように作られた本堂のほか、手の組み方が珍しい「宝冠大如来像」が有名です。また、日本で唯一の卍型をした戒壇巡りができ、長さ49mの暗闇をたどることで心身を清め、極楽往生のご利益があるとされています。

住所 関市西日吉町35
TEL 0575-22-2159
拝観時間 9:00～17:00



グルメ



れんこん料理

県内生産量の半数以上を占めるれんこんを使ったさまざまなメニュー。羽島れんこん友の会加盟店で食べられます。



みそぎだんご

6月の「みそぎ神事」の時期に市内の菓子店等で売り出される郷土のおやつ。米粉のだんごと赤味噌の素朴な風味が特徴です。



なまずバーガー

河川に囲まれた羽島市ならではのなまずをはさんだハンバーガー。あわせる具材や味付けは店によりさまざまなアレンジが楽しめます。

グルメ



うなぎ

古くから刀鍛冶の大事なスタミナ源だったといううなぎ。市内には現在も多くのうなぎ料理店があり、漂う香りに食欲をそそられます。



関あゆ

清流・長良川での小瀬鵜飼をはじめ、ヤナ漁や養殖など、鮎は関市にとってつながりの深い魚です。近年、新たなご当地グルメとして「関あゆ丼」「関あゆてっさ」が登場。店ごとに趣向を凝らした味をお楽しみください。

山々に囲まれた
岐阜県真ん中のまち

郡上市



詳しい情報は
コチラ

岐阜県のほぼ中央に位置する郡上市は、面積の約90%を山林が占め、長良川や吉田川など大小24の河川が流れる自然豊かなまち。「郡上おどり」で知られる郡上八幡は、江戸時代の風情を残す“水の城下町”と言われています。



誰もが参加できる、夜通し踊れる /

郡上おどり / 白鳥おどり



日本3大民謡の一つに数えられる郡上おどりは、30数夜にわたり行われる盆踊りとして、全国にその名をとどろかせています。なかでも8月13日～16日は徹夜おどりと称し、地元の人も観光客も一緒になって夜通し踊ります。同じく白鳥おどりも郡上市を代表する伝統芸能の一つであり、テンポの速い活動的な踊りが特徴です。

郡上おどり
住所 八幡町市街地一帯
TEL 0575-67-0002 (郡上八幡観光協会)
開催期間 7月中旬～9月上旬

白鳥おどり
住所 白鳥町市街地一帯
TEL 0575-82-5900 (白鳥観光協会)
開催期間 7月中旬～9月下旬



まちを見下ろす白亜の城 / 郡上八幡城



もとは戦国時代に築かれた砦で、昭和8年に再建された天守閣は木造再建城としては日本最古のものです。天守閣からは城下町や辺りの山々を見渡すことができ、秋には紅葉の名所としても知られています。

住所 郡上市八幡町柳町一の平659
TEL 0575-67-1819
開館時間 9:00～17:00
(夏季8:00～18:00 冬季9:00～16:30 ※最終受付は開城の15分前迄)
入館料 大人320円(280円)
小中学生150円(110円) ※ () 団体割引20人以上



自然の中で学び・体験 /

清流長良川あゆパーク



世界農業遺産に認定された「清流長良川の鮎」についてさまざまな情報発信を行う施設。鮎の友釣りなどの漁業体験をしたり、つかまえた魚を塩焼きにして食べたり、大自然の中で楽しみながら学び、体験することができます。

住所 郡上市白鳥町長瀬字下川原420-10
TEL 0575-85-2115
営業時間 9:00～17:00
定休日 火曜日



静かな山里に広がる花のじゅうたん /

國田家の芝桜



明宝地内に、毎年春になるとピンクや白の花畑が広がります。もとは國田さん宅の畑で昭和30年代から作られた芝桜が、今では近隣でも栽培されるようになりました。「内閣総理大臣賞」を受賞したこともある美しい景色です。

住所 郡上市明宝奥住2833
TEL 0575-87-2844 (明宝観光協会)
開花時期 4月下旬～5月上旬



和歌がテーマの野外博物館 /

古今伝授の里 フィールドミュージアム



古今和歌集の解釈等を秘伝する「古今伝授」で知られる東氏を記念して作られた、和歌がテーマの野外博物館です。国名勝・東氏館跡庭園や立体回廊型の和歌文学館をはじめ、東西2kmにわたる一帯が光と水のあるフィールドミュージアムとなっています。

住所 郡上市大和町牧912-1
TEL 0575-88-3244
営業時間 9:00～17:00
12月～3月は10:00～16:00
定休日 火曜日(祝日のときは翌平日)

温泉・清流・滝
リフレッシュのまち

下呂市



詳しい情報は
コチラ



日本三名泉の一つとして知られる下呂温泉をはじめ、市内全域に温泉地がある“温泉のまち”。中央を流れる飛騨川や馬瀬川など溪流釣りで人気の清流、「岐阜の宝もの」に認定された「小坂の滝めぐり」と、心身のリフレッシュにぴったりな自然あふれる環境です。

日本三名泉の一大スポット /

下呂温泉



もとは平安時代に発見されたという歴史のある温泉です。無色透明のなめらかな肌ざわりが特徴で、血行を良くし疲労回復や健康増進に効果があるほか、pH値9以上のアルカリ性で肌がツルツルになり「美人の湯」とも呼ばれています。街の中に無料の足湯があり、散策の疲れを癒せます。

住所 下呂市一帯
TEL 0576-24-1000
(一社)下呂温泉観光協会



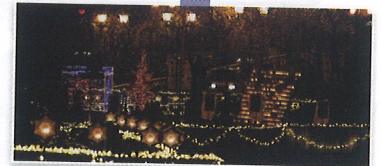
冬の温泉街を彩る光の競演 /

下呂温泉花火イベント



「下呂温泉花火ミュージカル」は、音楽にあわせてアーティスティックな花火が打ち上げられるイベント。この冬公演は、12月の土曜日やクリスマスに行われ、夏とはまた違った趣が味わえます。1月からの「冬の下呂温泉花火物語」では、日本の四季や風習を和の風情ある花火で表現するなど、毎週違った演出に。その他キャンドルイルミネーション等、冬ならではの景色を楽しむことができます。

住所 下呂市幸田(下呂大橋周辺)
TEL 0576-25-4711 (下呂市総合観光案内所)
開催期間 12月の土曜日、12/24(下呂温泉花火ミュージカル冬公演)、1月～3月の土曜日(冬の下呂温泉花火物語)



クリスマスを演出する「キャンドルイルミネーション」

日本で最も美しい村 /

馬瀬里山風景



馬瀬地域は「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、農林水産省の「食と農の景勝地」に認定された、自然の美しい風景が広がっています。清流・馬瀬川や秋の紅葉など、ふるさとの景観を見に訪れてみてはいかがでしょうか。

住所 下呂市馬瀬地区
TEL 0576-47-2841
(南飛騨馬瀬川観光協会)



レトロな路地裏に迷い込む? / 筋骨めぐり



“筋骨”とは、細い路地がまるで筋や骨のように絡み合っている様子を例えたこの地方ならではの呼び名です。飛騨街道・金山宿は江戸時代、宿場町として栄えたまち。迷路のように入り組んだレトロな路地裏は、昭和の映画のセットを思わせます。ガイドツアーもあり(有料)。

住所 下呂市金山町
TEL 080-3637-2201 (金山町観光協会)

グルメ



明宝ハム

昭和28年に地域ぐるみで製造をスタートした「明宝ハム」。良質な国産の豚肉のみをプレスハム製法で作る、歯ごたえと旨味たっぷりの昔懐かしいハムです。



鮎

長良川水系の郡上地域で捕れた天然鮎は「郡上鮎」ブランドとして全国に出荷されています。また、市内には観光ヤナが多く、活き造りや塩焼き、甘露煮、鮎雑炊などさまざまな鮎料理を味わえます。

お土産



食品サンプル

食品サンプルの生みの親、故・岩崎瀧三氏が生まれ育った郡上八幡。市内の工房で制作体験ができるほか、ユニークなグッズが多数販売されています。

グルメ



鶏ちゃん

鶏肉とキャベツなどに特製のタレを絡め、鉄板で焼きながら食べる郷土料理。醤油や味噌をベースに店ごとの工夫があり、庶民的でご飯がすすむ一品です。



夏秋トマト

昼夜の気温差が大きいこの地域では、果肉がしっかりと糖度の高いトマトが採れます。甘辛く煮込んだ飛騨牛と舞茸の上にトマトをのせた「トマト丼」は、下呂温泉の新たな名物となっています。



鉱泉粥

飲める温泉を使用して炊き上げたお粥は、昔の人の知恵と体験から生まれた健康食。温泉地周辺のレストランで食べられるほか、レトルト商品もあります。

何度でも訪れたい

古都の町並

高山市

江戸時代に幕府の直轄地として栄えた高山市は、今も往時の面影を強く残しています。

新しいカフェも湧き込む古い町並、春と秋に行われる高山祭、職人の技が光る工芸品や郷土グルメ…、何度訪れても新たな発見のあるまちです。



詳しい情報は
コチラ



のんびり歩くだけでも楽しい

古い町並



上町、下町の3つの通りを総称した「古い町並」は、城下町の中心、商人の町として栄えた場所です。一帯が国選定重要伝統的建造物群保存地区に選定され、出格子や造り酒屋の“酒ばやし”など、昔ながらの風情あふれる景観に、多くの観光客が訪れます。

住所 高山市上三之町ほか
TEL 0577-32-3333 (高山市観光課)



現存する代官屋敷 / 高山陣屋



江戸時代、幕府から派遣された代官や郡代が政治を行った建物です。明治維新後も県の事務所として利用され、昭和44年の移転まで現役だった珍しい史跡。大広間や白洲、年貢米を収納した御蔵など、展示資料はどれも見応えがあります。

住所 高山市八軒町1-5
TEL 0577-32-0643
開館時間 8:45 ~ 17:00 (11月~2月は16:30まで)
休館日 年末年始 (12/29 ~ 1/3)
入館料 大人440円 (390円) ※ () 団体割5130人以上
高校生以下無料

標高2,000m超の空中散歩

新穂高ロープウェイ



日本で唯一という2階建てのゴンドラで標高2,156mの高さへ。山頂展望台からは、北アルプスの雄大な景色が見渡せます。館内は食事や露天風呂の施設が充実しているほか、新穂高の自然を散策するガイドウォークなどのイベントも多数開催しています。

住所 高山市奥飛騨温泉郷神坂
TEL 0578-89-2252
営業時間 8:30 ~ 16:00 (季節により変動あり)
定休日 年中無休 (メンテナンス休業あり)
利用料 往復 大人3,000円、
小人1,500円 (片道乗車券等あり)



絢爛豪華な歴史絵巻

高山祭



春の高山祭 (山王祭) は日枝神社の例祭、秋の高山祭 (八幡祭) は櫻山八幡宮の例祭で、それぞれ異なる祭屋台が曳き揃えられます。“動く陽明門”とも称される屋台には、巧みな動きを披露するからくり人形や細やかな彫刻、美しく豪華な見送り幕など、随所に匠の技が見られます。「高山祭の屋台行事」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

住所 高山市神明町ほか
TEL 0577-32-3333 (高山市観光課)
開催期間 4/14・15、10/9・10

地元の人とふれあいながら買い物

宮川朝市



宮川沿いに、地元で採れた新鮮な野菜や果物、民芸品などさまざまな品が並びます。地元の人と方言まじりの会話を楽しみながら、季節ごとに変わる飛騨ならではの買物。朝市は高山陣屋広場でも行っています。

住所 高山市下三之町
TEL 080-8262-2185 (飛騨高山宮川朝市協同組合)
営業時間 7:00 ~ 12:00 (12月~3月は8:00 ~)
定休日 年中無休



暮らしを体験

岐阜県最北端のまち

飛騨市

飛騨高山の奥座敷と称され古い町並が今も残るほか、宇宙物理学の研究施設があるなど古くも新しい飛騨市。日本の原風景の里山を楽しむ「サイクリング」や広葉樹を活用した木工体験、自然が育む薬草体験など暮らしを旅することができます。



詳しい情報は
コチラ



三湿原回廊のひとつ

池ヶ原湿原



奥飛騨数河葉菜園立自然公園内にある池ヶ原湿原は、天生湿原、深洞湿原とともに飛騨市の「三湿原回廊」と呼ばれます。県内最大規模の広さで、季節の花々を鑑賞しながら遊歩道を散策することができます。4月下旬から5月中旬には、群生するミズバショウやリュウキンカが見頃を迎えます。(冬期閉鎖期間あり)

住所 飛騨市岐阜県飛騨市宮川町洞
TEL 0577-63-2311
(飛騨市宮川振興事務所産業振興係)



勇壮な起し太鼓 / 古川祭



数百人の男たちが担ぐ檣の上の大太鼓にまたがり、背中合わせに1mのバチで打つ「起し太鼓」が有名。古式ゆかしい御神輿行列、華麗な屋台行列とともに盛大に行われる伝統行事です。高山祭と同じくユネスコ無形文化遺産に登録されています。

住所 飛騨市古川町
TEL 0577-74-1192 (飛騨市観光協会)
開催期間 4/19・20

宇宙物理学に触れる

ひだ宇宙科学館
カミオカラボ



宇宙素粒子ニュートリノの研究でノーベル物理学賞をもたらした「スーパーカミオカンデ」の観測データや宇宙物理学の魅力を紹介する新施設。大型スクリーンの迫力ある映像やミニゲームで科学を体験することができます。

住所 飛騨市神岡町夕陽ヶ丘6 (道の駅スカイドーム神岡内)
TEL 0578-86-9222
営業時間 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
休館日 水曜日、12/29 ~ 1/3
入館料 無料



薬草の宝庫飛騨で満喫

薬草体験施設
「ひだ森のめぐみ」



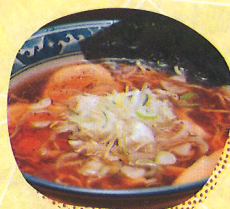
飛騨古川のまちなかにあるおしゃれな外観。オリジナルの薬草茶や入浴剤、薬草七味づくりなど体験できるほか、薬草商品の販売、薬草茶の試飲サービスもあります。

住所 飛騨市古川町武之町6-7
TEL 0577-73-3400
営業時間 10:00 ~ 16:00
定休日 年末年始

グルメ

飛騨牛

岐阜県の豊かな自然の中で育てられた黒毛和牛のうち、一定基準をクリアした高品質な肉。肉質は柔らかく、美しい霜降りとうろけるような味わいが特徴です。



高山ラーメン

鶏ガラベースのあっさりとした醤油味、極細ちぢれ麺の音懐かしい中華そば。各店自慢の味をぜひ食べ比べてください。

お土産



さるぼぼ

飛騨地方の方言で“猿の赤ちゃん”という意味。健康、縁結び、夫婦円満、安産祈願、厄除けなどの縁起物とされます。高山に来たら一度は手にする民芸品です。

グルメ



漬物ステーキ

白菜などの漬物を鉄板の上で焼き、卵でとじた家庭料理。節節や七味唐辛子をかけて食べると抜群のおいしさです。雪深い飛騨地方ならではの定番です。



地酒

冷涼な気候、山々の雪解け水、飛騨には酒造りの条件が揃っています。市内には3つの造り酒屋があり、蔵見学(要予約)や試飲をすることもできます。

お土産



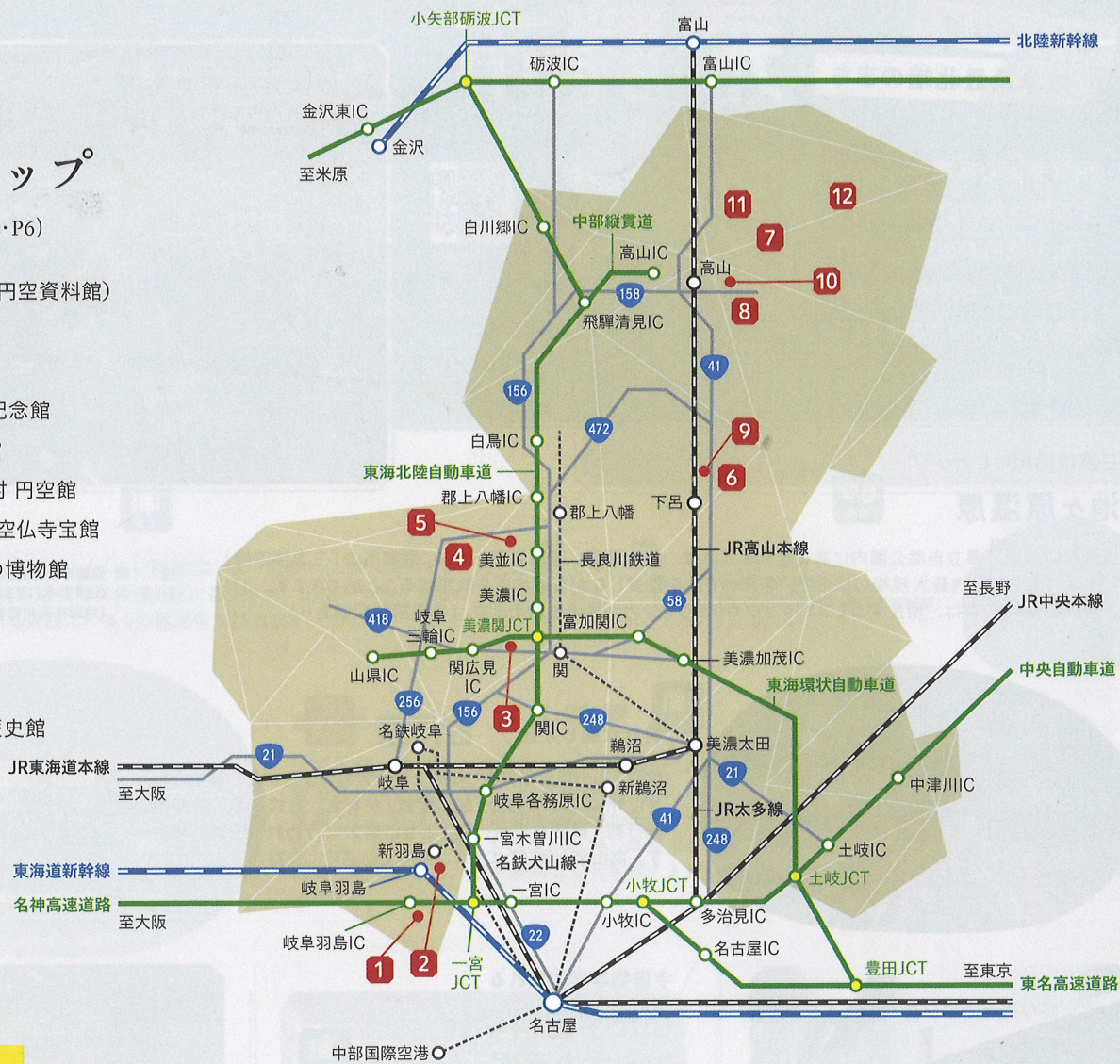
和ろうそく

240年以上の歴史をもち、飛騨古川の冬の風物詩「三寺まいり」にも奉納されます。「三嶋和ろうそく店」では、手作業で行うろうそく作りを見学することもできます。

円空仏 拝観マップ

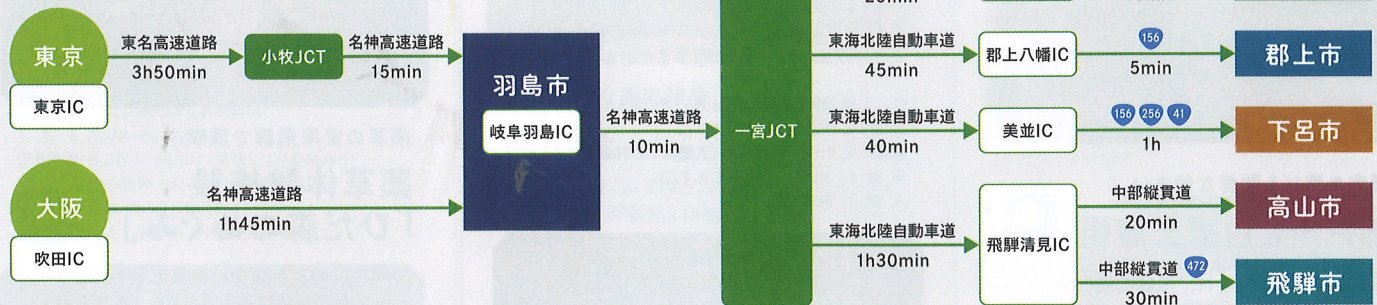
(拝観施設紹介P5・P6)

- 1 中観音堂(羽島円空資料館)
- 2 長間薬師寺
- 3 関市円空館
- 4 関市洞戸円空記念館
- 5 美並ふるさと館
- 6 下呂温泉合掌村 円空館
- 7 飛騨千光寺 円空仏寺宝館
- 8 飛騨高山まちの博物館
- 9 温泉寺
- 10 飛騨国分寺
- 11 清峯寺
- 12 上宝ふるさと歴史館

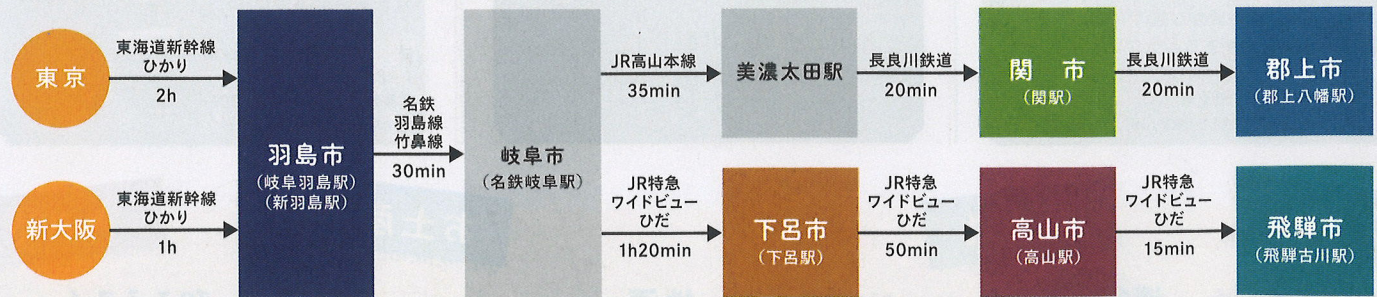


交通アクセス

マイカーをご利用の場合



公共交通機関をご利用の場合



発行 羽島市商工観光課 TEL 058-392-1111 (代表) / 羽島市観光協会 TEL 058-322-2303

制作協力 関市観光課 TEL 0575-22-3131 (代表) / 郡上市観光課 TEL 0575-67-1121 (代表)
下呂市観光課 TEL 0576-24-2222 (代表) / 高山市観光課 TEL 0577-32-3333 (代表)
飛騨市観光課 TEL 0577-73-2111 (代表)

Webも
チェック!

Smile Road
Journey